

町民アンケート調査結果
(速報版)

福島県大熊町
平成24年7月

1. 調査概要

町民アンケート調査の概要

項目	概要	
調査対象者	中学生以上の全町民	
配布数	10,025 票	
有効回収数（率）	6,481 票 (64.6%)	
調査方法	郵送	
調査時期	平成 24 年 5 月 11 日（金）～6 月 18 日（月）	
調査内容	問1～問10	フェイスシート （年代、性別、行政区、職業）
	問11	町に帰ってもよいと考える放射線量の基準
	問12	復興の拠点となる町指定地
	問13	今後の意向パターン
	問14～問21	パターン別の各種意向 （場所、選択理由、希望事項など）
	問22～問24	子どもがいる世帯の各種意向 （進学地域、子ども年齢など）
	問25	自由意見

2. 集計にあたって

(1)平成 24 年 6 月 25 日（月）段階で、今回の調査結果を速報値という形で整理したものです。（集計作業継続中）

(2)各設問の回答項目ごとに集計表を作成し、回答者数と回答者全体に対する構成比^{注1)}を示しています。

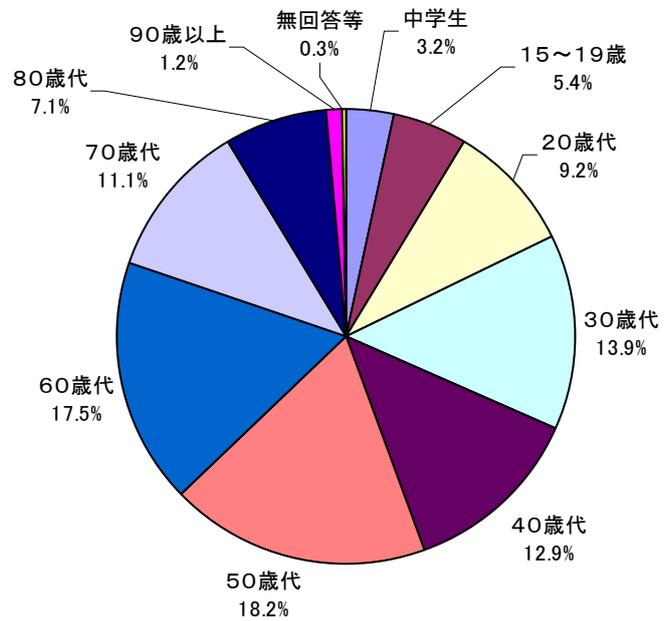
注 1) 判別が困難な回答や記入ルールとは違った回答を「無効回答」としてカウントしているが、構成比は「無回答」とあわせて「無回答等」と表現しています。また、設問によっては特に必要のない場合は、「無回答等」を除いて構成比を算定しているケースもあります。さらに、問 15 のように複数回答可の場合は、回答数は回答者数を上回るため、合計値は 100%を超えることとなります。

(3)各設問の回答項目ごとに、構成比を選択肢間で比較しやすいように必要に応じて図を作成しています。

(4)自由意見の回答の多くは、一人の回答者が幾つかの意見を記載されており、それらを別個の意見としてカウントしています。

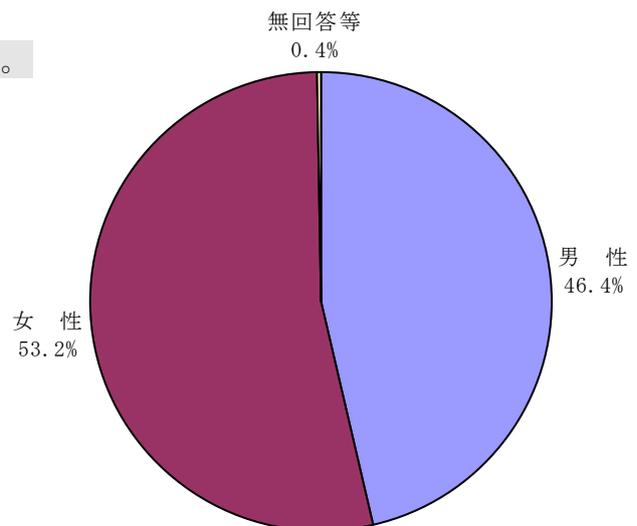
問1 あなたの現在の年齢などについておたずねします。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
中学生	210	3.2%
15～19歳	349	5.4%
20歳代	595	9.2%
30歳代	901	13.9%
40歳代	834	12.9%
50歳代	1,182	18.2%
60歳代	1,132	17.5%
70歳代	722	11.1%
80歳代	461	7.1%
90歳以上	76	1.2%
無回答等	19	0.3%
合計	6,481	100.0%



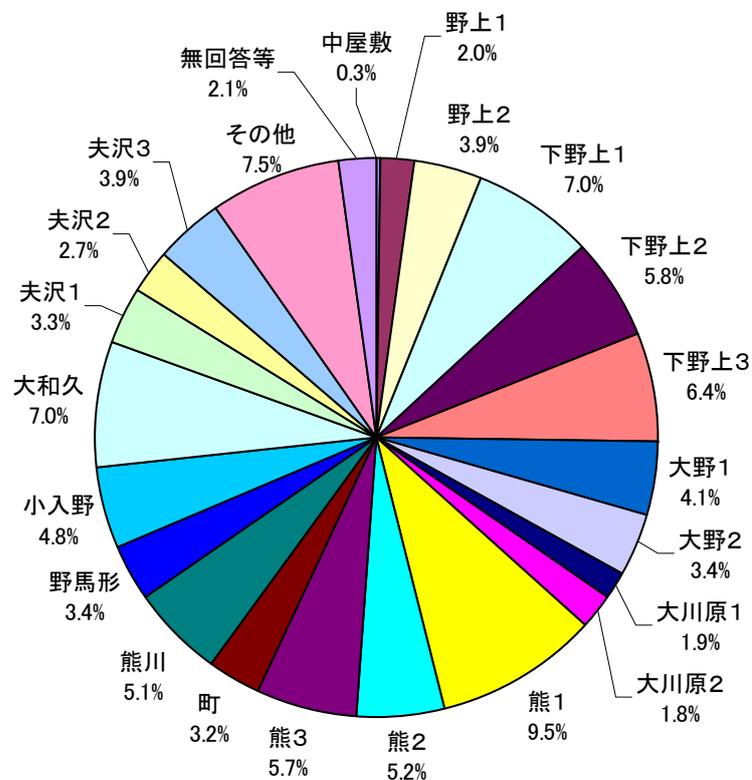
問2 あなたの性別についておたずねします。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
男性	3,006	46.4%
女性	3,448	53.2%
無回答等	27	0.4%
合計	6,481	100.0%



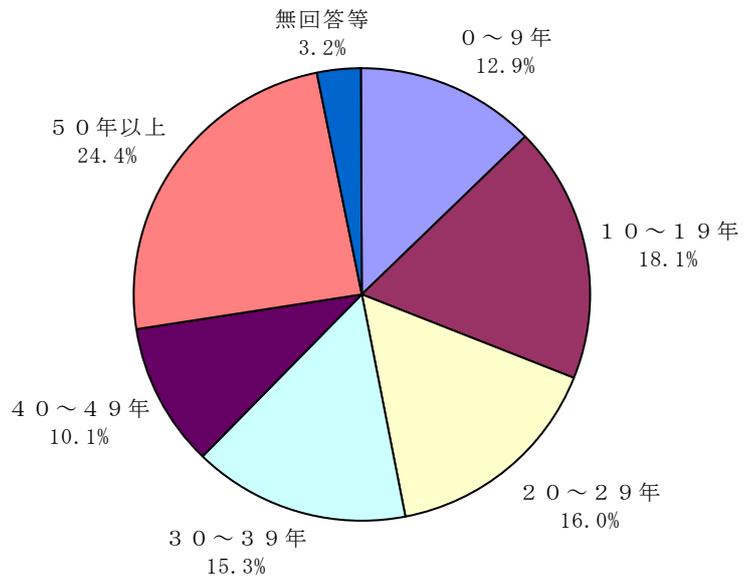
問3 あなたは大熊町内に住んでいたときは、どこの行政区に住んでいましたか。

項目	票数 (人)	構成比 (%)	項目	票数 (人)	構成比 (%)
中屋敷	17	0.3%	熊3	371	5.7%
野上1	131	2.0%	町	205	3.2%
野上2	251	3.9%	熊川	329	5.1%
下野上1	455	7.0%	野馬形	223	3.4%
下野上2	375	5.8%	小入野	311	4.8%
下野上3	416	6.4%	大和久	456	7.0%
大野1	266	4.1%	夫沢1	215	3.3%
大野2	223	3.4%	夫沢2	175	2.7%
大川原1	121	1.9%	夫沢3	251	3.9%
大川原2	114	1.8%	その他	488	7.5%
熊1	614	9.5%	無回答等	136	2.1%
熊2	338	5.2%	合計	6,481	100.0%



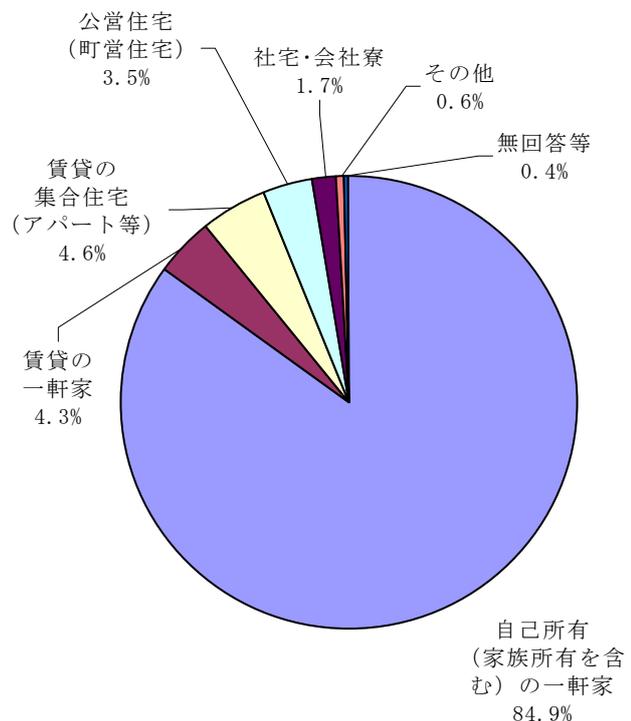
問4 あなたは大熊町に何年住んでいましたか。通算してご記入ください。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
0～9年	837	12.9%
10～19年	1,175	18.1%
20～29年	1,035	16.0%
30～39年	990	15.3%
40～49年	656	10.1%
50年以上	1,582	24.4%
無回答等	206	3.2%
合計	6,481	100.0%



問5 あなたは大熊町でどのような住宅環境でしたか。

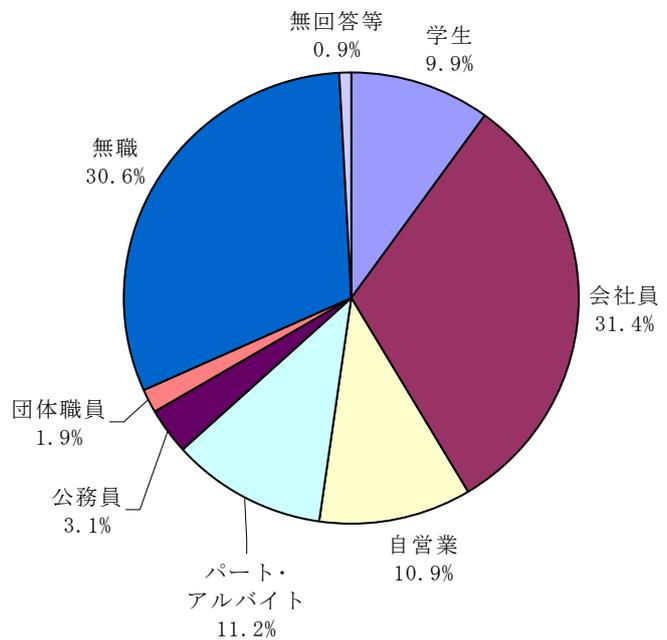
項目	票数 (人)	構成比 (%)
自己所有の一軒家 (家族所有を含む)	5,504	84.9%
賃貸の一軒家	278	4.3%
賃貸の集合住宅 (アパート等)	298	4.6%
公営住宅 (町営住宅)	230	3.5%
社宅・会社寮	109	1.7%
その他	37	0.6%
無回答等	25	0.4%
合計	6,481	100.0%



「その他」
記入なし

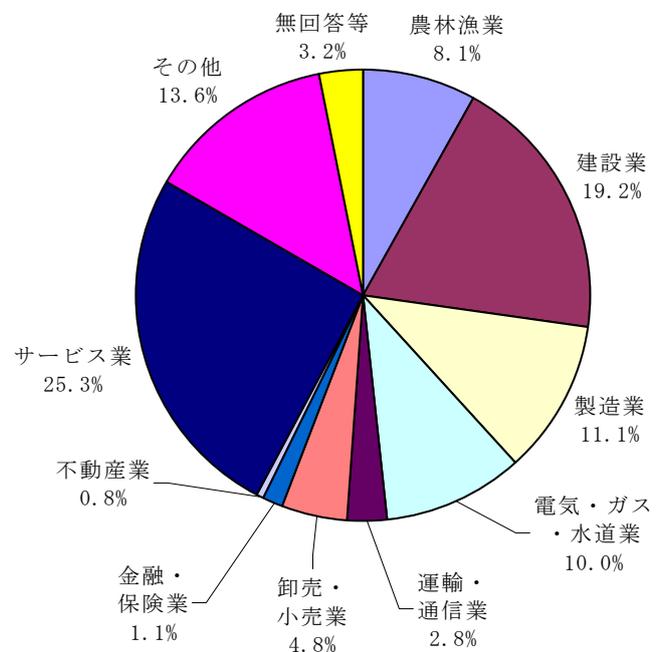
問6 あなたの震災時のご職業についておたずねします。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
学生	642	9.9%
会社員	2,035	31.4%
自営業	708	10.9%
パート・アルバイト	727	11.2%
公務員	201	3.1%
団体職員	123	1.9%
無職	1,985	30.6%
無回答等	60	0.9%
合計	6,481	100.0%



問7 震災時のお仕事の業種は何ですか。

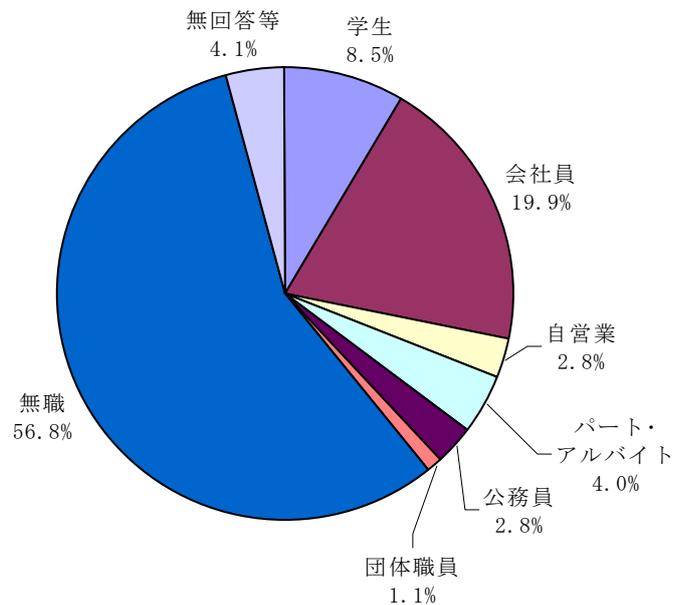
項目	票数 (人)	構成比 (%)
農林漁業	280	8.1%
建設業	665	19.2%
製造業	385	11.1%
電気・ガス・水道業	348	10.0%
運輸・通信業	98	2.8%
卸売・小売業	166	4.8%
金融・保険業	39	1.1%
不動産業	28	0.8%
サービス業	879	25.3%
その他	472	13.6%
無回答等	110	3.2%
合計	3,470	100.0%



「その他」
記入なし

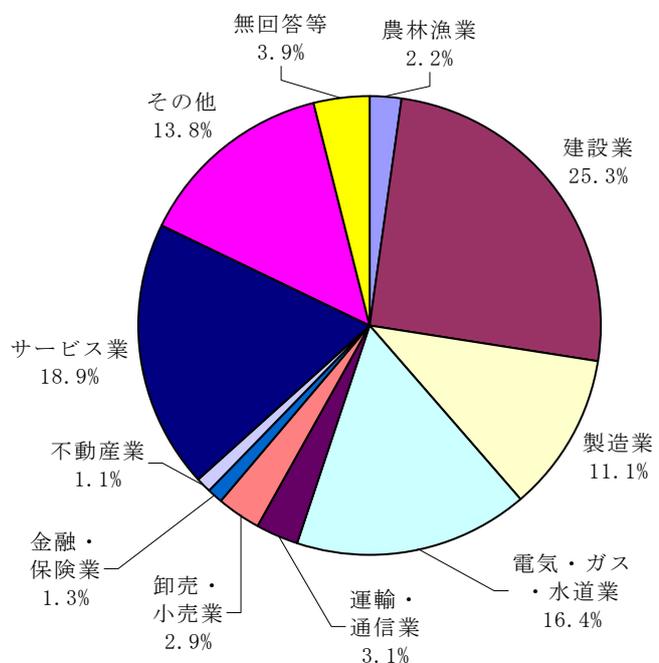
問8 現在のご職業についておたずねします。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
学生	554	8.5%
会社員	1,287	19.9%
自営業	180	2.8%
パート・アルバイト	261	4.0%
公務員	182	2.8%
団体職員	72	1.1%
無職	3,681	56.8%
無回答等	264	4.1%
合計	6,481	100.0%



問9 現在のお仕事の業種は何ですか。

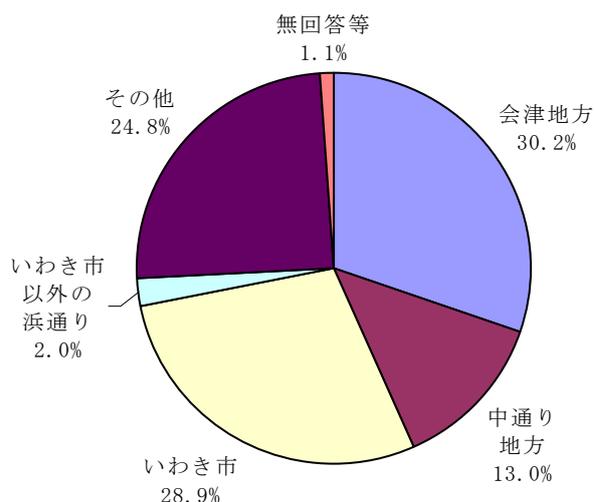
項目	票数 (人)	構成比 (%)
農林漁業	38	2.2%
建設業	438	25.3%
製造業	191	11.1%
電気・ガス・水道業	283	16.4%
運輸・通信業	54	3.1%
卸売・小売業	50	2.9%
金融・保険業	23	1.3%
不動産業	19	1.1%
サービス業	326	18.9%
その他	238	13.8%
無回答等	68	3.9%
合計	1,728	100.0%



「その他」
記入なし

問10 あなたは現在どこに避難されていますか。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
会津地方	1,960	30.2%
中通り地方	841	13.0%
いわき市	1,870	28.9%
いわき市以外の浜通り	132	2.0%
その他	1,606	24.8%
無回答等	72	1.1%
合計	6,481	100.0%

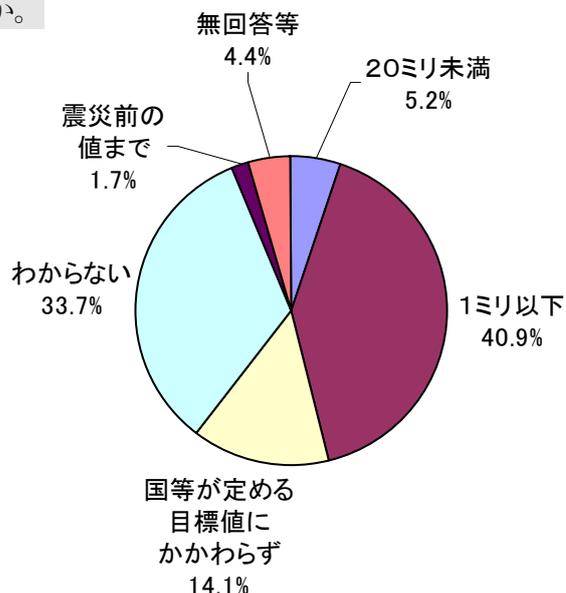


「その他」

埼玉県(257件) 東京都(230件) 茨城県(163件) 新潟県(133件)
 神奈川県(128件) 千葉県(108件) 宮城県(85件) 栃木県(70件)
 群馬県(43件) 山形県(32件)など

問11 現段階において、放射線量(年間積算線量)だけを考えた場合、町に帰ってもよいと考えられる放射線量の基準はどのくらいですか。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
20ミリシーベルト未満	335	5.2%
1ミリシーベルト未満	2,652	40.9%
国等が定める目標値にかかわらず(下表記入数値)	915	14.1%
わからない	2,182	33.7%
震災前の値まで	111	1.7%
無回答等	286	4.4%
合計	6,481	100.0%

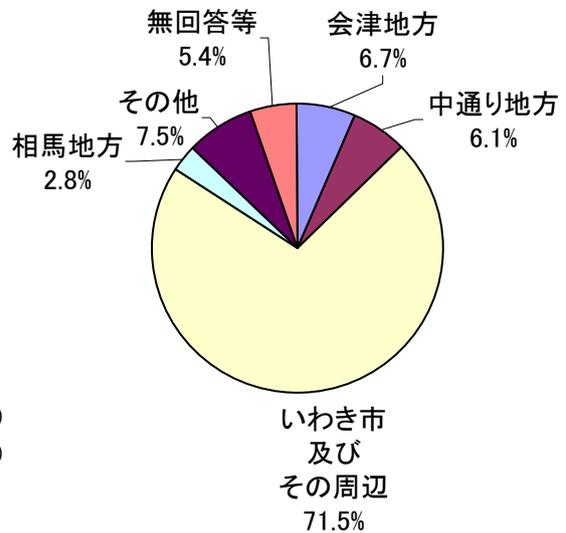


「国等が定める目標値にかかわらず」として記入された放射線量(年間積算線量)の数値

放射線量 (ミリシーベルト)	0.1以下	0.1超 ～ 0.5	0.5超 ～ 1.0 未満	1.0超 ～ 5.0	5.0超 ～10.0	10.0超 ～19.9	20.0超 ～50.0	50.0超	無回答	計
件数	347	193	228	47	30	1	7	—	62	915
構成比	37.9%	21.1%	24.9%	5.1%	3.3%	0.1%	0.8%	—	6.8%	100.0%

問 1 2 今後、町が設ける復興の拠点となる町指定地はどこがよいですか。

項 目	票数 (人)	構成比 (%)
会津地方	436	6.7%
中通り地方	396	6.1%
いわき市及びその周辺	4,634	71.5%
相馬地方	181	2.8%
その他	484	7.5%
無回答	350	5.4%
合 計	6,481	100.0%

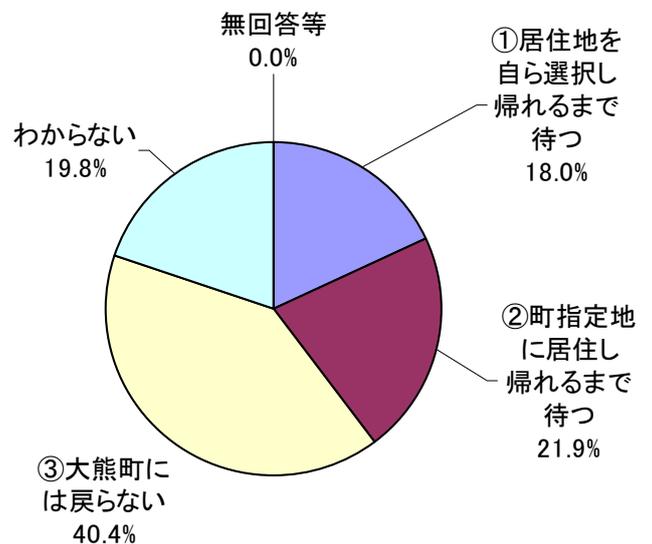


「その他」

大熊町周辺(52件) どこでもよい(35件)
 双葉郡内(28件) 広野町・檜葉町(25件)
 田村市周辺(20件) わからない(84件)
 その他(206件)など

問 1 3 第一次大熊町復興計画(素案)についておたずねします。あなたはこの計画(素案)に記載しているどのパターンを選びますか。

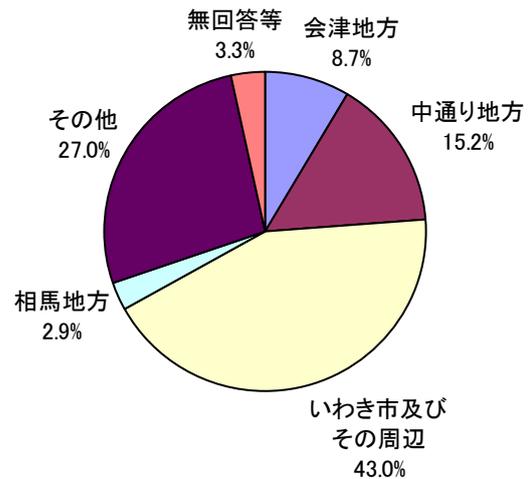
項 目	票数 (人)	構成比 (%)
パターン① 居住地を自ら選択し 帰れるまで待つ	1,164	18.0%
パターン② 町指定地に居住し 帰れるまで待つ	1,417	21.9%
パターン③ 大熊町には戻らない(注)	2,617	40.4%
わからない	1,283	19.8%
無回答等	0	0.0%
合 計	6,481	100.0%



(注) 様々な事情により、やむを得ず将来もふるさとの大熊町に戻らないことを選択し、帰町しないと考えている方

問14 問13で「居住地を自ら選択し帰れるまで待つ」を選ばれた方におたずねします。居住地を自ら選択し帰れるまで待つ場合、どこで待ちますか。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
会津地方	101	8.7%
中通り地方	177	15.2%
いわき市及びその周辺	500	43.0%
相馬地方	34	2.9%
その他	314	27.0%
無回答等	38	3.3%
合計	1,164	100.0%

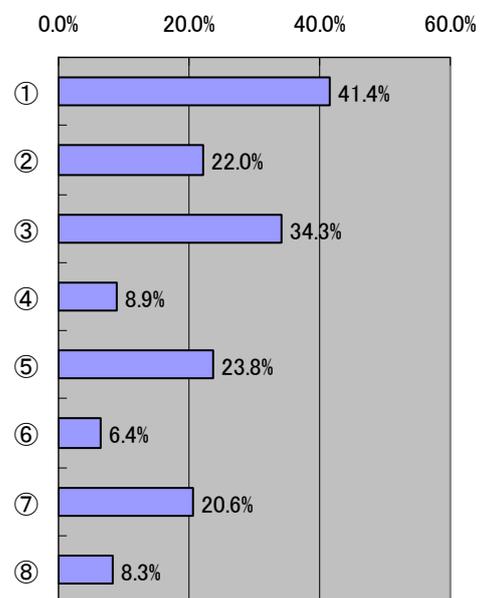


「その他」

東京都(周辺)(46件) 現在地(避難場所)(23件) 埼玉県(18件) 茨城県(15件)
 栃木県(14件) 神奈川県(13件) 新潟県(12件) きめていない、わからない(19件)
 その他(148件)など

問15 問13で「居住地を自ら選択し帰れるまで待つ」を選ばれた理由をおたずねします。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
①病院や福祉施設が充実している	482	41.4%
②学校の関係	256	22.0%
③仕事の関係	399	34.3%
④地域との絆ができた	104	8.9%
⑤商業施設が充実している	277	23.8%
⑥子育て環境が良い	74	6.4%
⑦その他	240	20.6%
⑧無回答等	97	8.3%
合計	1,929	165.7%



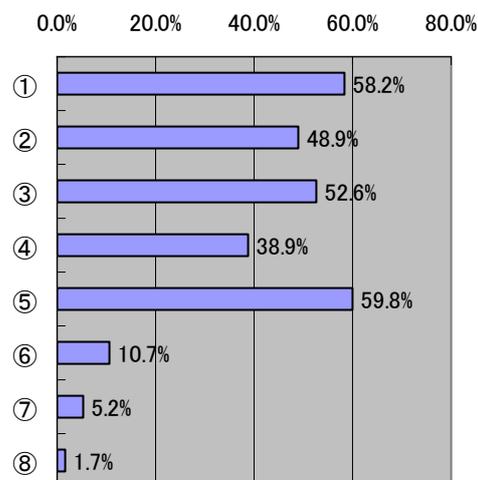
* 回答者数1,164人に対する複数選択可のため、100%を超える

「その他」

- ・線量の心配がなく地震もなく安心だから、・気候的に大熊町と同等、
- ・故郷から離れたくないし大熊町という存在を忘れたくないから、
- ・町指定の決定がいつになるか判らないため、
- ・交通の便が良く家族間の行き来が容易なため、など

問 1 6 問 1 3 で「町指定地に居住し帰れるまで待つ」を選ばれた理由をおたずねします。

項 目	票数 (人)	構成比 (%)
①情報がすぐ入る	824	58.2%
②知り合いが多くいる	693	48.9%
③役場が近くにあるから	745	52.6%
④町が指定した場所だから	551	38.9%
⑤住宅を用意してくれるから	847	59.8%
⑥教育施設が出来そうだから	151	10.7%
⑦その他	74	5.2%
⑧無回答等	24	1.7%
合 計	3,909	276.0%



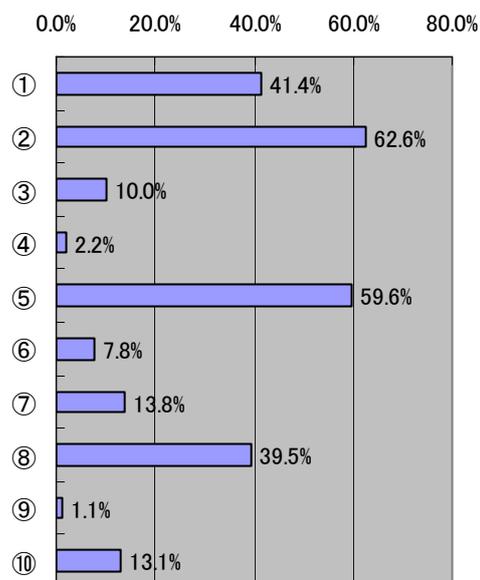
*回答者数 1,417 人に対する複数選択可のため、100%を超える

「その他」

- ・家族と一緒に住めるから
- ・障がい者なので福祉がないと困る
- ・病院や福祉施設の充実が条件
- ・町の復興に寄与したいから
- ・年齢的に他は無理
- ・大熊町を故郷と思っているから
- ・他に行く所がないから
- ・差別が少なそうだから
- ・安心して待てる
- ・他市町村ではなじみがない
- ・現在居るところが不便である など

問 1 7 問 1 3 で「町指定地に居住し帰れるまで待つ」を選ばれた方におたずねします。町指定地についてどのようなことを望みますか。

項 目	票数 (人)	構成比 (%)
①放射線量が低い場所	586	41.4%
②病院や福祉施設の充実	887	62.6%
③幼稚園、小・中学校の設立	142	10.0%
④子育て環境の充実	31	2.2%
⑤長期間居住できる 住宅の提供	844	59.6%
⑥コミュニティの維持	111	7.8%
⑦商業施設の充実	196	13.8%
⑧交通の便が良い場所	560	39.5%
⑨その他	15	1.1%
⑩無回答等	186	13.1%
合 計	3,558	251.1%



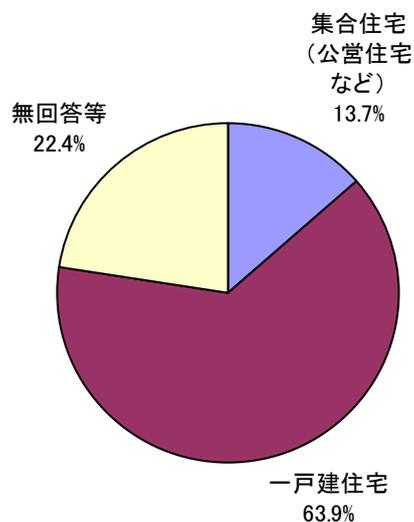
*回答者数 1,417 人に対する複数選択可のため、100%を超える

「その他」

- ・働く場があること
- ・仮設の延長みたいな住宅はストレスがたまるので嫌です
- ・自然空間の田畑が少しでもあれば良い
- ・大熊町に環境が似ている所 など

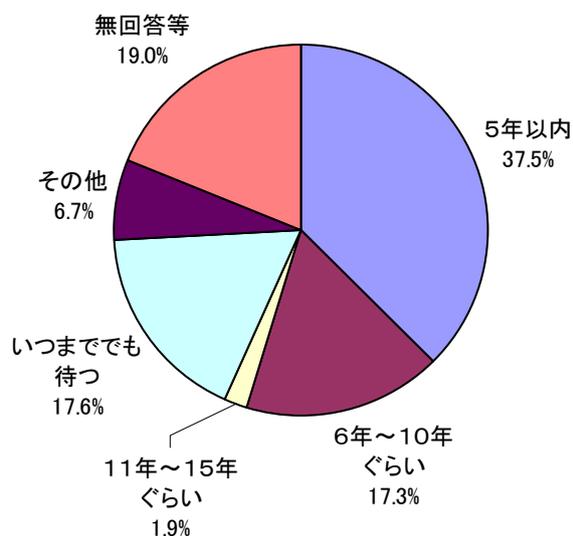
問18 問13で「町指定地に居住し帰れるまで待つ」を選ばれた方におたずねします。町指定地で待たれる場合、どのような住宅の形態を望みますか。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
集合住宅（公営住宅など）	194	13.7%
一戸建住宅	906	63.9%
無回答等	317	22.4%
合計	1,417	100.0%



問19 問13で「居住地を自ら選択し帰れるまで待つ」か「町指定地に居住し帰れるまで待つ」を選ばれた方におたずねします。あなたは何年くらいであれば待てますか。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
5年以内	968	37.5%
6～10年以内	447	17.3%
11～15年以内	50	1.9%
いつまでも待つ	454	17.6%
その他	172	6.7%
無回答等	490	19.0%
合計	2,581	100.0%

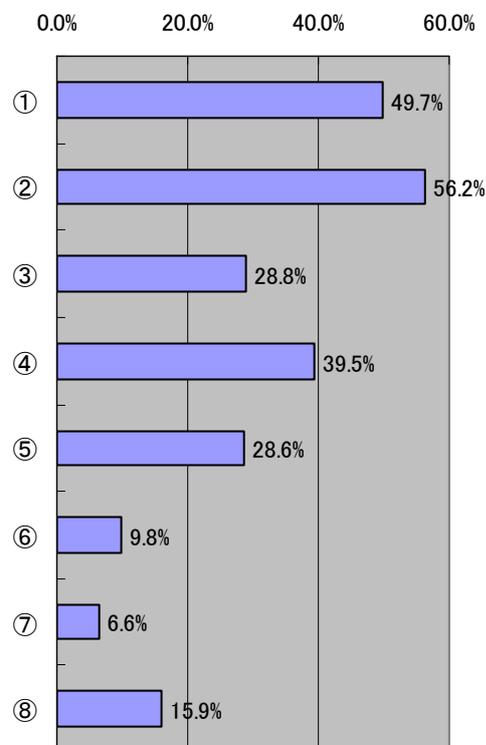


「その他」

1年未満（1件）、1～2年未満（11件）、2～3年未満（50件）
3～4年未満（59件）、4～5年未満（0件）、5年以上（8件）など

問20 問13で「居住地を自ら選択し帰れるまで待つ」か「町指定地に居住し帰れるまで待つ」を選ばれた方におたずねします。大熊町へ戻りたい理由は何ですか。

項目	票数 (人)	構成比 (%)
①先祖代々の土地や家、 お墓があるから	1,284	49.7%
②暮らしてきた町なので 愛着があるから	1,450	56.2%
③地域の人々と一緒に 復興していきたいから	744	28.8%
④大熊町での生活が気に 入っていたから	1,020	39.5%
⑤見ず知らずの土地で 生活環境が大きく変わる	737	28.6%
⑥家族や知り合いが町へ 帰ると言っているから	253	9.8%
⑦その他	171	6.6%
⑧無回答等	410	15.9%
合計	6,069	235.1%



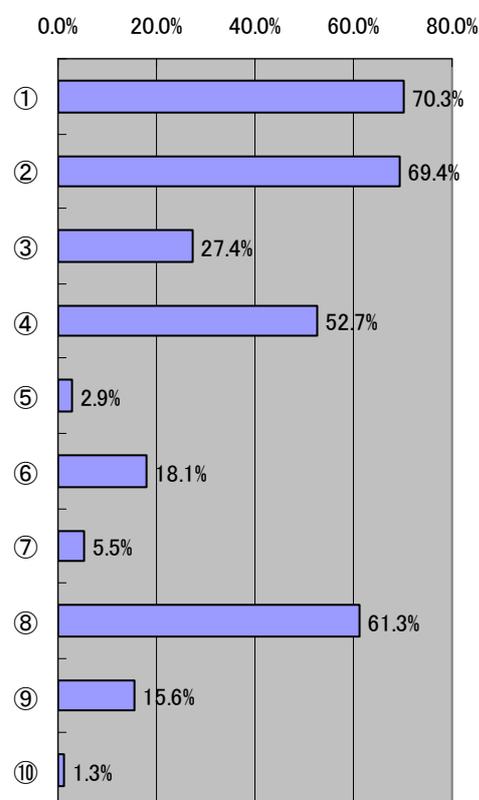
*回答者数2,581人に対する複数選択可のため、100%を超える

「その他」

- ・放射線量は永久に高いままではないから
- ・新たに生活基盤を立ち上げるために費用がかかると思う
- ・雇用には限界がある。一生働くには土地や家が必要だから
- ・新築したばかりの家だし、とにかく帰りたい
- ・元の生活に戻りたいし、自分の帰るべき場所だと思っているため
- ・家に帰るのに理由なんてない、あたりまえのこと
- ・山川海など自然に恵まれていたから
- ・ペットと一緒に暮らしたい
- ・職場の都合
- ・子ども達に故郷を残してあげたいと思うから
- ・大熊町ではなく別拠点でも良いから住民が集まって新しい大熊町エリアに戻る
- ・原発を許容して来た世代としての責任があるから
- ・住民票をうつすのがめんどろなので子供を転校させたくないの
- ・今住んでいるところで疎外されているから
- ・行く場所がないから など

問 2 1 問 1 3 で「大熊町には戻らない」を選ばれた理由をおたずねします。

項 目	票数 (人)	構成比 (%)
①放射線が心配	1,839	70.3%
②復興できるとは 思わないから	1,815	69.4%
③子供の教育が不安	718	27.4%
④病院や商店が できないと思う	1,380	52.7%
⑤仕事の都合などで 一時的に住んでいたから	75	2.9%
⑥仕事の関係	474	18.1%
⑦地震や津波により 家屋が倒壊・流出した	144	5.5%
⑧原子力災害により 家屋が住める状況でない	1,604	61.3%
⑨その他	407	15.6%
⑩無回答等	33	1.3%
合 計	8,489	324.5%



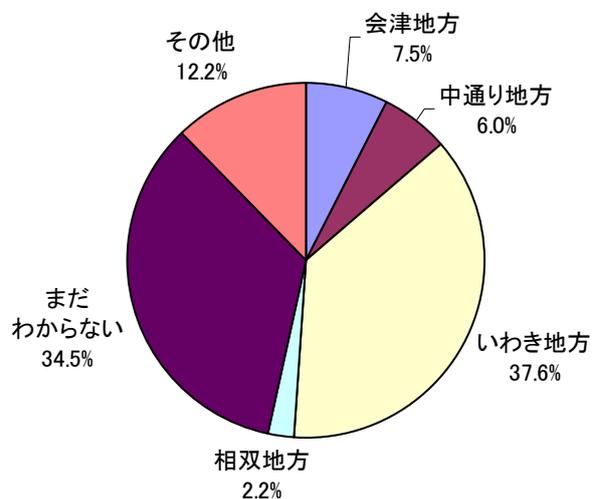
*回答者数 2,617 人に対する複数選択可のため、100%を超える

「その他」

- ・子どもの学校や幼稚園で友達がたくさんできているから
- ・マンションを購入したため
- ・帰る見通しが立つ頃（何十年後先）にはもう今の場所で生活基盤ができている
- ・除染してもなくなるしないし山は除染しきれないから
- ・中間及び最終処分地を大熊とした方が良いと思うから
- ・廃炉にもなっていない原発の近くに住めるわけがない
- ・若い人が戻らず年寄りだけの町になり最期は過疎化の町になってしまうと考える
- ・大熊町在住と言うだけで差別や嫌がらせを受けるから
- ・何度も転居を繰り返すことはこりごりであるため
- ・農業関係が不能
- ・魅力がもう失せてしまった
- ・国県特に町の復興（案）の主体が見えない
- ・資産価値がないから
- ・復興のスケジュールが家族の成長に合わないため
- ・戻るメリットはあるのか など

問 2 2 中学生の方及びそのご家族におたずねします。高校に進学する（させる）場合はどの地方を選びますか。

項 目	票数 (人)	構成比 (%)
会津地方	83	7.5%
中通り地方	67	6.0%
いわき地方	419	37.6%
相双地方	25	2.2%
まだわからない	384	34.5%
その他	136	12.2%
合 計	1,114	100.0%



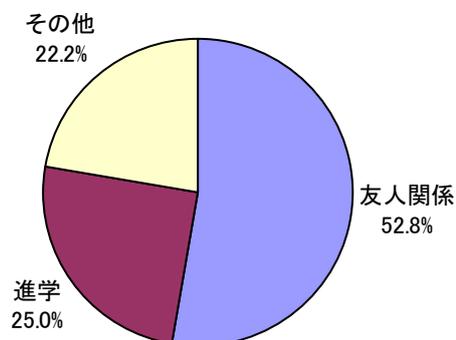
「その他」

東京都、関東、埼玉県、新潟県、千葉県、栃木県、
避難先、広島県、神奈川県、京都府、東北以外 など

問 2 3 中学生の方及びご家族におたずねします。現在及び将来に対してご心配なことがあればお書きください。また、ご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

1) 中学生自身の心配点・要望など

分 類	意見数	構成比
友人関係	19	52.8%
進学	9	25.0%
その他	8	22.2%
合 計	36	100.0%



【友人関係】

- ・みんなが集まることができるイベントを実施してほしい（8件）
- ・友達と離れてしまったので、いつ会えるのか不安（7件）
- ・将来、成人式を大熊のみんなでやりたい（2件）
- ・以前の友達がいないので、今の学校でなじむことができない
- ・自分が戻っても、友達が戻らなかったら意味がない

【進学】

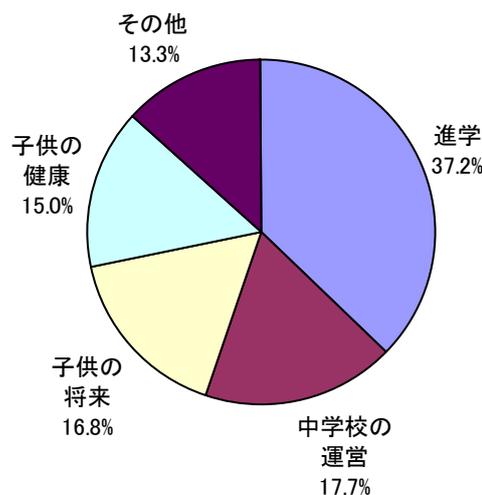
- ・いわきの高校に行きたいが、学区の制限もあり不安（4件）
- ・進学について、県内の高校の情報提供をしてほしい（4件）
- ・会津の高校を選択した場合、卒業後の就職が心配

【その他】

- ・部活動が少ない。思うように活動ができない（7件）
- ・もう少し、広い所に住みたい

2) 中学生の家族の心配点・要望など

分類	意見数	構成比
進学	42	37.2%
中学校の運営	20	17.7%
子どもの将来	19	16.8%
子どもの健康	17	15.0%
その他	15	13.3%
合計	113	100.0%



【進学】

- ・いわきへの進学を考えているが、住宅の確保が困難である（16件）
- ・仮の町の決定（親の居住地）が決まらないと、子どもの進学先も決まらない（9件）
- ・入試の際、学区がどのようなになるか不安である（12件）
- ・県内の高校は倍率が高くなっている（3件）
- ・県外に来たが、高校のシステムが違いすぎて驚いた（2件）

【中学校の運営】

- ・中学校の学習環境が整っていない（11件）
- ・子どもの数も減少しており、このまま中学校を継続することができるのか（8件）
- ・大熊中に入学しなかった家族に対して、何のフォローもない

【子どもの将来】

- ・子どもへの差別（就職、進学、結婚等）、いじめが心配である。（18件）
- ・子どもの就職先が心配

【子どもの健康】

- ・子ども達の放射線による健康被害（甲状腺等）が不安である（14件）
- ・県外に住んでいるので、線量検査を受けていない
- ・仮の町は子どもの健康に影響のない放射線量地を選んでほしい
- ・会津若松に、小・中学校が残るようにしてほしい

【その他】

- ・家族がバラバラで暮らしていることが心配（12件）
- ・住居がせまく、子どもがストレスを感じている。（3件）

問 2 4 小学生以下のお子さんがある保護者へおたずねします。お子さんの年齢と人数をご記入ください。

子どもがいる世帯別

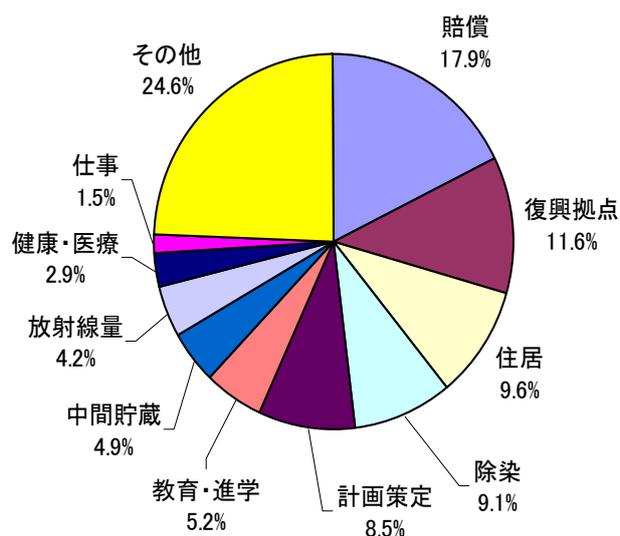
項 目	票数 (人)	構成比 (%)
1人子どもがいる世帯	406	52.1%
2人子どもがいる世帯	280	35.9%
3人以上子どもがいる世帯	94	12.1%
合 計	780	100.0%

年齢別

項 目	票数 (人)	構成比 (%)	項 目	票数 (人)	構成比 (%)
0 歳	88	7.0%	7 歳	111	8.8%
1 歳	96	7.6%	8 歳	119	9.4%
2 歳	107	8.5%	9 歳	95	7.5%
3 歳	120	9.5%	10 歳	87	6.9%
4 歳	84	6.7%	11 歳	110	8.7%
5 歳	119	9.4%	12 歳	30	2.4%
6 歳	96	7.6%	合 計	1,262	100.0%

問 2 5 「第一次大熊町復興計画（素案）」についてご意見・ご要望、又はその他ご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

分類	意見数	構成比
賠償	578	17.9%
復興拠点	376	11.6%
住居	309	9.6%
除染	295	9.1%
計画策定	274	8.5%
教育・進学	168	5.2%
中間貯蔵	160	4.9%
放射線量	137	4.2%
健康・医療	93	2.9%
仕事	50	1.5%
その他	795	24.6%
合計	3,235	100.0%



【賠償に関する意見（578件）】

- ・生活再建するための賠償を速やかに行って欲しい
- ・財物補償を速やかに行ってほしい
- ・家屋の賠償については、評価額に基づく賠償にはしないほしい
- ・財物補償は、再調達価格に基づく補償としてほしい
- ・大熊町の住居のローンも支払っており、評価額の補償では納得いかない
- ・避難区域再編に従って賠償額を決めず、町内一律で賠償額を決めてほしい
- ・精神的苦痛に対する賠償額が不満
- ・賠償指針の定める金額に応じず、個別の補償額を提示し納得できるように努めるべき
- ・平等な賠償となるようにしてほしい

【復興拠点に関する意見（376件）】

- ・早期の帰郷を実現してほしい
- ・復興拠点を早く決定してもらわないと、今後の計画が立てられない
- ・高齢であり、いつもまでも待ってられない。早く、定住地を決定してほしい
- ・早く落ち着いて暮らせる場所を決定してほしい
- ・いわき周辺ではあいまいなので、場所を特定してほしい
- ・仮の町設置については、いわき市等との調整をしっかりと行ってほしい
- ・仮の町を受け入れる地元の人たちの理解を得られないのではないか

- ・大川原等に復興拠点を置くとしても、ライフラインが整備されないと戻れない
- ・町ごと、どこか他の地域に永久移住すべき
- ・復興拠点には老人介護施設を建設すべき
- ・町村合併し、まとまって仮の町をつくるべき
- ・仮の町はいわきにこだわる必要はない
- ・仮の町は双葉郡の方がよい

【住居に関する意見（309件）】

- ・仮設住宅と借り上げ住宅で待遇に差がある（物資、情報 等）
- ・仮設住宅入居期間、借り上げ補助の延長をしてほしい
- ・仮設住宅がせまく、精神的にも気を使う
- ・大熊町の家をそのまま放置しているので、帰町するとしても住める状態にない
- ・帰町できても、住むところがなければ意味がない
- ・仮設住宅は気を遣い疲れる。大熊在住時のように一戸建てに住みたい

【除染に関する意見（295件）】

＜賛成＞

- ・除染して元通りになるのなら進めてほしい
- ・除染ではなく、除去してほしい
- ・高齢であり、早く除染をしてもらい、大熊へ帰りたい
- ・除染は3年を目途に実施してほしい

＜反対＞

- ・除染にかかる費用があるならば、賠償にまわしてほしい
- ・除染をしてもムダである
- ・計画どおりに除染は進んだとしても、若者、子どもは戻らない
- ・原発が完全に収束していないため、除染をしてもまたすぐに汚染されてしまう
- ・除染をしても大熊へ帰る人は少ないし、そもそもライフライン等は整備されなければ生活できない

【計画策定に関する意見（274件）】

- ・町が何事も、早く方向性を決断してくれなければ、先に進めない
- ・長期的な話ではなく、半年後、1年後のビジョンを早く具体的に示してほしい
- ・アンケートで可否をとるべきではない
- ・今回のアンケート結果を知りたい
- ・町民説明会を実施してほしい
- ・町民の意見を聞く機会が少ない
- ・双葉郡内の町村がもっと協力して事をすすめるべき
- ・復興委員会の委員はどのように選定されているのか
- ・復興委員会に、放射線の専門家を招聘すべき
- ・具体的な数値、スケジュール等、具体的目標を定めた計画を策定してほしい

【教育・進学に関する意見（168件）】

- ・子どもの学力低下が心配
- ・避難先の住居がせまく、子どもが勉強する環境ではない
- ・いわきへの進学を考えているが、住宅の確保が困難である
- ・仮の町の決定（親の居住地）が決まらないと、子どもの進学先も決まらない
- ・入試の際、学区がどのようになるか不安である
- ・このままだと、中学校の生徒数はどんどん減少してしまう
- ・現在の環境では、子どもの学力低下が懸念される
- ・中学校の学習環境が悪い
- ・部活動や体育が行える施設を整備してほしい（校庭・体育館）
- ・進学にあたって、避難地域、相双地区の高校の情報が少ない
- ・子どもの進学で転居しなければならない場合は、住居を優先的に斡旋してほしい

【中間貯蔵施設に関する意見（160件）】

- ・仕方がないが、大熊町（もしくは双葉郡内）で中間貯蔵施設を受入れないと、除染が前に進まない
- ・国との交渉の材料とするため、中間貯蔵施設を受入れするのは仕方ない。代わりに国から十分な補償を引き出してほしい
- ・中間貯蔵施設は、人の住まないところに建設すべき
- ・大熊町に戻らないのであれば、中間貯蔵施設を受入れを進めるべき
- ・中間貯蔵施設や研究施設を大熊町内に建設し、町民は別のところに住めばよい
- ・中間貯蔵施設を建設したら、町民は戻らなくなる
- ・中間貯蔵施設が最終処分場になることはわかりきっている
- ・中間貯蔵施設を受入れをどうするかが決まらないと、帰るかどうかが判断できない

【放射線量に関する意見（137件）】

- ・年間被ばく量を設定しても、その数値が正しいのか不安
- ・線量は自然界と同じレベルにならないと帰れない
- ・放射線量が下がらなければ、子どもを連れて帰れるわけがない
- ・完全に廃炉しないと帰れない
- ・避難指示区域の見直しが遅い
- ・放射線に関して、正しい知識・情報がほしい

【健康・医療に関する意見（93件）】

- ・子どもの内部被ばくについて、継続的に検査してほしい
- ・健康被ばく手帳をつくってほしい
- ・住民に健康管理体制の構築が遅い
- ・医療費の免除を継続してほしい
- ・医療施設・福祉施設・カウンセリングを充実させてほしい
- ・老人介護関連の対策をしっかりとすべき

【仕事に関する意見（50件）】

- ・避難先の雇用を確保してほしい
- ・会津で仕事を探しても、見つかるかどうか不安
- ・子どもの将来の就職先が不安

【その他の意見（795件）】

- ・県外に避難していると町の情報が一切入ってこない〔情報〕
- ・正しく、必要な情報提供を迅速に行ってほしい〔情報〕
- ・県内、県外の避難者の間で町からのサポートに差がある〔町からのサポート〕
- ・大熊町民同士が集える機会を多く設けてほしい〔コミュニティ〕
- ・同級生と集まることのできる機会を提供してほしい〔コミュニティ〕
- ・町長を中心に、国、県、東電に強く要望して行ってほしい〔要望〕
- ・大熊町は、もっと国等に対してアピールを行うべき〔要望〕
- ・大熊町は、他の町村に比べマスメディアへの露出が少ない〔アピール〕
- ・墓参りができるようにしてほしい〔お墓〕
- ・お墓を低線量地域へ移動してほしい〔お墓〕
- ・一時帰宅を自由にできるようにしてほしい〔一時帰宅〕
- ・絆タクシーの期間延長をお願いしたい〔絆タクシー〕
- ・大熊町出身ということで、さまざまな場で差別を受ける〔風評被害〕
- ・6号国道、高速道路の開通等、交通の便の向上を求める〔交通〕
- ・会津の役場支所は今後も引き続き、維持してほしい〔役場機能〕
- ・南相馬にも役場支所を設置してほしい〔役場機能〕
- ・大熊町から住民票を移した後も、行政サービスは継続して受けられるのか〔行政サービス〕
- ・住民票移動後も不利益を被らないようにしてほしい〔行政サービス〕

お問い合わせ先

大熊町役場 会津若松出張所 企画調整課

〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号

電話0242-26-3844(代) FAX0242-26-3794